

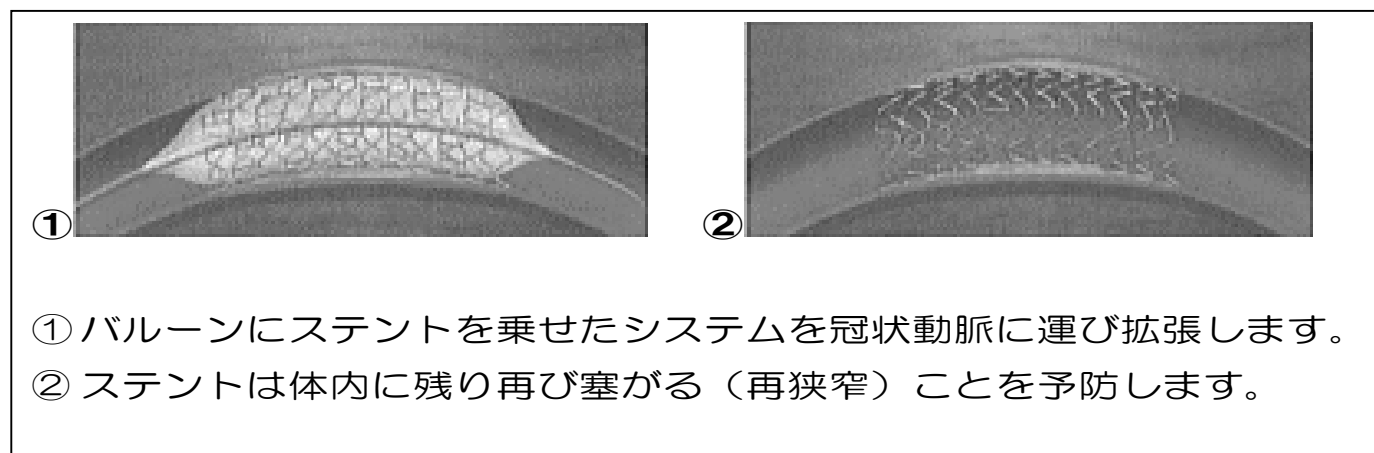
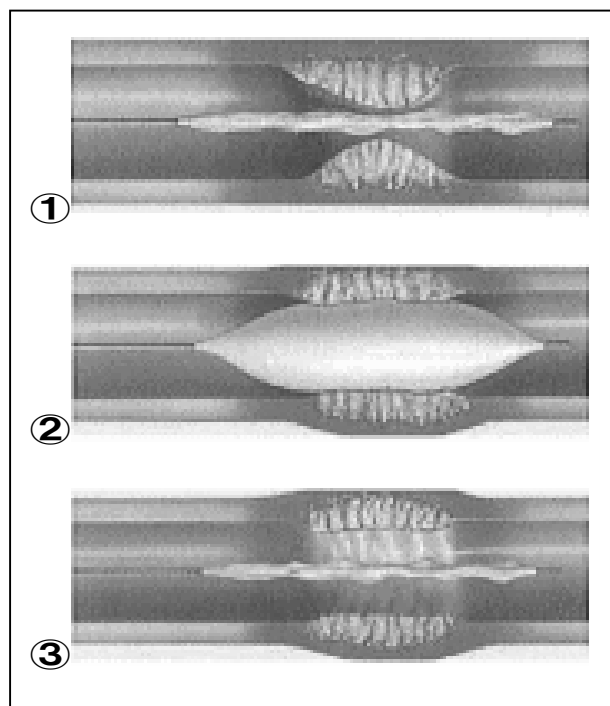
症状が現れにくいということは、是非知っておいていただきたい点です。それゆえ偕行会では、前回桜井課長からお話がありましたように、症状のない患者さんにも定期的に種々の心臓の検査をおこなっているわけです。

②風船治療(PCI)はどんな治療？

治療法としては、大きく2つに分けられます。一つはいわゆる風船治療、もう一つは直接患者さんの胸を開けさせていただいておこなう冠動脈バイパス術です。

風船治療はより一般的な治療法で、カテーテルとよばれる細い管を冠動脈内に入れ、その先端についている風船を広げることによって、狭くなっている冠動脈を広げる方法です。

しかしただ広げただけでは、再び狭くなるということ(再狭窄)が高頻度におこるため、ステントという金属のネットを入れることが多いのです。それでも約20%以上の再狭窄がおこっていたのですが、最近では特殊な薬剤を塗布したステントが登場し、再狭窄は数%程度にまで減少しました。



しかし、残念ながら透析患者さんでは、このステントでも20%近くの再狭窄がおこることがわかってきました。それでも、このステントも含めた風船治療は、管を入れる部分の局所麻酔だけですみますし、合併症も少なく患者さんの負担も軽いので、まず第一番に選択される治療法です。